

報告候也

明治十五年五月

浦和代言人組合會長

大島寬爾

浦和驛三百九番地住

# 脚氣

ハ東邦ノ地方病ト稱スヘキ者ニシテ我政府至

仁ノ典義ニ明治十一年ヲ以テ脚氣病院ヲ設ケラレ委員ヲ

置キ五年ヲ期シテ本病ノ原因治法等ヲ檢究セシメラル東

洋モ亦治療委員ノ命ヲ奉シ爾來致々今日ニ及ヘリ然ルニ

今般該病院ヲ廢セラレタリ因テ茲ニ一病院ヲ

## 私設

シ今後三年ヲ期シ汎ク本病患者ヲ治療シ以

テ致クノ素志ヲ達セント欲ス乃テ余が治療ヲ受ケント欲

スル諸君ハ本院ニ就キ規則ヲ一覽シテ入院スレ

駿河臺西紅梅町三番地

# 六月一日開院

## 佐々木東洋

重英永井先生開 高木怡莊氏譯述

## 面幾何辨明

全四卷

定價二十四圓

右ハ英人禮諾德氏ノ原著ニシテ高木氏が某塾ニ在リシ時  
教授ノ餘暇ニ譯セテ其稿ヲ以テ永井君ト相謀リ原書ヲ  
増減補綴シ初學子弟ヲシテ通曉シ易カラシム蓋シ永井氏

廿一冊  
五冊  
本二冊  
廣告  
の二  
版  
の定  
め  
手  
着  
手  
如  
く  
満  
意  
之  
を  
加  
し  
從  
前  
有  
之  
約  
方  
便  
切

十九  
晴雨  
寒暖  
濕速  
風方  
○今二  
一行  
十一  
三十  
五十  
但